

会議録

会議の名称		第5回小金井市いのち支える自殺対策計画策定委員会
事務局		福祉保健部 健康課
開催日時		令和6年3月13日(水) 午後2時から午後3時15分まで
開催場所		小金井市保健センター 大会議室
出席者	委員	委員長 大森 美湖 委員長 委員 羽田野 勉 委員 則武 辰夫 委員 川畑 美和子委員 太田 篤胤 委員 齋藤 寛和 委員 田部井 由美子 委員 古澤 精一 委員 東宮 邦彦 委員 欠席委員 河西 あかね 副委員長 尾崎 庸子 委員 波田 桃子 委員 紅谷 昌元 委員 塩原 真一 委員
	事務局	福祉保健部長 大澤 秀則 福祉保健部健康課長 伊藤 崇 福祉保健部健康課健康係長 永井 桂 福祉保健部健康課健康係主任 岩崎 まり子 福祉保健部健康課健康係主任 萩野 裕人 福祉保健部健康課健康係主事 大久保 美奈子 株式会社名豊 担当者
傍聴の可否		可・一部不可・不可
傍聴者数		0人
会議次第		1 開会 2 議事 (1) 第2次自殺対策計画(案)に対する意見及び検討結果について (2) 第2次自殺対策計画(案)について (3) 第2次自殺対策計画(概要版)(案)について (4) 今後の自殺対策に関する取組みについて

	(5) その他
発言内容・発言者名 (主な発言要旨)	別紙のとおり
提出資料	<p>資料1 第2次自殺対策計画(案)に対する意見及び検討結果について(概要)</p> <p>資料2 第2次自殺対策計画 ころろに寄り添いいのち支えるまち小金井(案)</p> <p>資料3 第2次自殺対策計画 前回資料(11月27日会議)からの修正点</p> <p>資料4 第2次自殺対策計画(概要版)</p> <p>当日配布資料1 小金井市のいのち支える自殺対策計画策定委員名簿</p> <p>当日配布資料2 第2次自殺対策計画 前回資料(11月27日会議)からの修正点(1ページ目差し替え)</p> <p>当日配布資料3 令和6年度 自殺対策に係る周知等の取組みについて</p>

別紙

第5回小金井市いのち支える自殺対策計画策定委員会 会議録（主な発言要旨等）

1 開会

2 議事

(1) 委員の紹介

(2) 第2次自殺対策計画（案）に対する意見及び検討結果について

事務局 ≪資料1に基づき説明≫

委員長 だたいまの資料の説明について、質問のある方はご発言を。

委員 なし。

(3) 第2次小金井市自殺対策計画（案）について

事務局 ≪資料2、3に基づき説明≫

委員長 だたいまの資料の説明について、質問のある方はご発言を。

委員 なし。

委員長 本委員会で検討してきた第2次小金井市自殺対策計画（案）については、本案をもって承認し、その後、市長に報告させていただくということでよろしいか。

委員 異議なし。

(4) 第2次自殺対策計画（概要版）（案）について

事務局 ≪資料4に基づき説明≫

委員長 だたいまの資料の説明について、質問のある方はご発言を。

川畑委員 5ページ基本施策1～4について、令和6年度から新たに継続していくということは分かるが、棒グラフに「増加」という言葉が入っている。これはいつから増加なのか、「増加」の意味をどのように捉えたらよいのか。

事務局 例えば、基本施策の2の自殺対策を支える人材の育成についてはゲートキーパー養成講座の受講者数を計画期間中に増加をさせていくという意味で記載している。明確な数値を設定しているのではなく、それぞれの施策としている事業について記載している。

川畑委員 増やしていきたいという意図は理解しているが、増加だとすごく曖昧で捉えづらいつと感じた。目標指数としては、例年よりか少しずつ出していきたいのか、令和5年から全体的にずっとそのまま拡充して増加でいくのかで、捉え方が違ってくる。

- 委員長 確かに、増加だけだといろんな要素が含まれている。例えば、短くいくなら「増加が目標」等はどうか。
- 則武委員 本日報告があったパブリックコメントについて、お一人から1件という結果であり、現状としては、自殺対策について、関心が非常に低く、切実にとらえている方が少ないということであると思う。そういう中で、いかにこういった意識を広げていくかというのがとても大事なことではないだろうか。
- 昨年、孤独・孤立対策推進法が成立し、「孤独・孤立に悩む人を誰ひとり取り残さない社会、相互に支え合い、人と人との「つながり」が生まれる社会を目指す」ということが趣旨としてうたわれている。まさに、自殺というのは1つのある行き着いた形の形状だと思うが、孤独・孤立対策推進法の趣旨を踏まえていかにこの命を支え合うまちづくりをするか、人々の中にそういう意識を醸成していくか。この法律の中にもあるが、予防ということも踏まえて、そういった観点がとても必要になってくるのではないかと思う。増加ということから関連して、数を減らしていくということだけではなく、それを促す行政からの仕組みが今後必要になるのではないか。新しい法律の趣旨なども踏まえて、何か付け加えた上で実施できるのではないかと感じた。
- 古澤委員 増加という表現についてであるが、例えば、各前年比増加という表現のほうが分かりやすいのではないかと思う。
- 委員長 この図の中に前年度からというふうを書く案と、例えば、図を変えずに欄外に「前年比増加のことを意味しています」のよう書くという案もあるが、いかがか。
- 太田委員 矢印を年度が上がるにつれて矢印を太くするというのはどうか。
- 事務局 御指摘いただいたとおり、どこからどこに向かって増加というのが分かりにくいと思うので、前年に比べて増加等、読んだ人が分かりやすいような表現を検討させていただきたい。
- 福祉保健部長 概要版の前に、本体の80ページにも同様の表が掲載されているので、整合性をとる必要があると思っている。詳細は委員長と事務局でお預かりをさせていただき形で承認をいただき、それに付随して、概要版もそれに沿った形で「前年度より増加させる」等のコメントをつけるか、直近の数字が出ているものがあれば記載する等検討したい。委員長と事務局で調整するということをお願いしたい。
- 齋藤委員 「増やしていく」という言葉に変えると通じるのではないか。

羽田野委員 成果指標としての目標を設定ということがあるので、可能なものは数値目標を入れたほうがいいと思うが、そこも検討いただけるか。

委員 長 たくさん項目があるが、可能であれば数値を入れるかどうかということも含めて、検討するというところでよろしいか。

福祉保健部長 小金井市で策定している計画の中で、数値を定めている計画があれば、記述することは可能であると思っている。自殺対策に特化するものに関しては、事務局で決定するか、また委員長と調整をさせていただきたい。

委員 長 項目によっては、来年度から計画を見直すものもあるので、その辺も踏まえて御意見として承らせていただきたい。

委員 長 概要版のほうが多くの部数が配布されるので、概要版だけを読んでも、ある程度、自殺対策計画策定委員会の議論の経過を踏まえた計画の内容等を理解いただきたいと思う。そういった観点からもご意見等あればお願いしたい。

太田委員 出来上がった計画は配布されるのか。

事務局 計画の詳細版は100部、概要版のほうは1,000部印刷予定である。当日配付資料3の1に記載のとおり、主に、健康課、市役所第2庁舎1階、6階の情報公開コーナー、市内各施設、公民館や集会施設、体育館、図書館などに設置する予定である。併せて、各小中学校などにも配布する。

概要版は、部数も多く発行するので、これらの施設により多く配置し、できるだけ多くの市民の方に見ていただけるように配架する。

それ以外にも、介護事業所等の関連する団体や民生委員にも配布する予定である。自殺対策計画策定委員の皆様にも詳細版と概要版と両方ともお送りする。

羽田野委員 図書館はなぜ本館だけなのか。

事務局 図書館の本館以外のところは、公民館と建物が一体になっているため、各館1つとして考えている。概要版につきましては、部数も多いので、概要版は同じ建物でも公民館部分と図書館部分とそれぞれに配架したいと考えている。

委員 長 その他、御質問、御意見等なければ、本案をもって承認し、その後、市長に報告させていただくということよろしいか。

委員 異議なし。

委員 長 今後は、計画案を市長に報告することになるが、最終的な軽微な修正などは委員長に御一任いただきたい。

(4) 今後の自殺対策に関する取組について

- 事務局 《当日資料3に基づき説明》
- 委員長 だいたい資料の説明について、質問のある方はご発言を。
- 羽田野委員 2（1）について、市立小中学校と書かれているので、東京学芸大学附属小学校、中学校には配布しないのか。
- 事務局 市内にある各中学校、高校を対象にしているので、東京学芸大学附属小学校、中学校も含めて考えている。
- 齋藤委員 2（3）の勤労者等への周知について、社会福祉協議会にリーフレットを設置することが勤労者への周知につながるのか。
- 事務局 現状として、40代、50代の勤労者の自殺者が多く、その方たちとどのように接触を取っていくのかということが課題である。本来であれば、市内の企業等に働きかけて案内を送付するのがよいかと思うが、今後検討できればと思う。まず身近なところで、社会福祉協議会に設置したいと考えている。
- 齋藤委員 社会福祉協議会というと、あまり勤労者が行くというイメージはないかなと思い、質問した。企業に対して働きかけができるといいのではないのか。
- 則武委員 商工会はどうか。
- 事務局 商工会についても検討していきたい。
- 羽田野委員 自殺窓口の一覧等は、市報への掲示はしないのか。
- 事務局 そういったものも今後検討していきたい。
- 太田委員 市報にQRコードを載せて、ホームページにリンクできるようにするというのはいかがか。
- 事務局 それについても検討したい。
- 田部井委員 現在、社会福祉協議会に経済的なことで相談に来る方のほとんどが仕事をしている。
- 委員長 チラシを配布するといっても数に限りがあるので、案内状等に、「たくさんの方に目につくように掲示してください」といった文言を入れることも重要なのではないかなと思う。
- 田部井委員 相談窓口を案内するときに、リーフレットやチラシをお渡しすることになるが、そこに直接的に「自殺」というふうに書かれているととても渡しにくい。直接的な表現は避けて、「命を支える」といった言葉にする等、表現を工夫してもらえたらと

思う。

- 事務局 東京都のリーフレットにも、直接的な表現はなかったと思う。
- 委員長 東京都の相談窓口一覧は内容が網羅されている。今回、計画の最後に小金井市の相談窓口一覧を掲載したので、東京都と小金井市の相談窓口の両方が目につくようになるといいなと感じた。幅広く心の問題について書かれていたので、学校には、東京都の相談窓口を配布いただきたい。
- 川畑委員 ゲートキーパー養成研修のときにいただいたチラシには、直接ではなく、すごくいいなという感想を持った。
- 則武委員 ゲートキーパー養成講座の中で、ロールプレイをやったときに、「大変つらかったですね」「死にたかったんですか」といったセリフがあり、「死」という言葉に違和感があった。自殺、自死という言葉は、扱い方がとてもデリケートな言葉であるということを感じた。
- 委員長 ケースバイケースで、最初から死というのを扱ってほしいという方もいると思うが、そういった感情は奥に秘めていて、まず分かっていたきたいという方がほとんどではないかと思う。まずは、心の相談窓口のみならず、経済的な相談も含めた、様々な側面で相談体制があるんだということを周知し続けていく必要があるのではないかと思う。
- 委員長 その他、御質問、御意見等あるか。
- 委員 なし。

(5) その他について

- 事務局 ≪ゲートキーパー養成研修及び養護教諭連絡会への出席について報告≫
- 委員長 説明内容につて、御質問、御意見等あるか。
- 委員 なし。
- 委員長 本日の議題は全て終了とする。

本日で最後の会議となるので、委員の皆様からひと言ずついただきたい。

≪各委員からひと言≫

- 委員長 これで第5回小金井市いのち支える自殺対策計画策定委員会を終了とする。